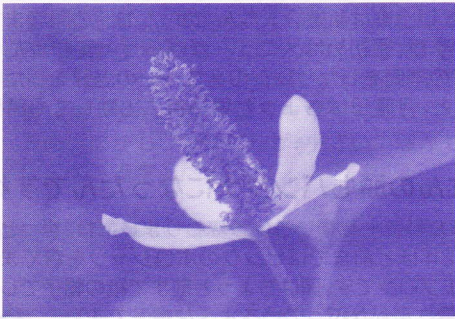


5月号に続いて理学部附属植物園の花を紹介します。

写真1:ユクノキ(*Cladrastis sikokiana* (Makino) Makino、マメ科)。山地でまれに見られる、日本特産の木です。高さ15 mにもなり、白い花をたくさん咲かせます。その様子から「雪の木」となり、ユクノキに転訛したようです。

(<http://members.tripod.co.jp/bgarden/pic/yukunoki.html>)

写真1 ▶



◀ 写真2

写真2:ドクダミ(*Houttuynia cordata* Thunb., ドクダミ科)。日陰に群生する多年草。一つの花のように見えても実際は小さな花が集まっています。この小さな花には萼や花弁がありません。白くて大きく、花弁のように見えるのは総苞片というものです。古くより薬草として幅広い用途に用いられ、じゅうやく(十薬)、しぶき、などの異名を持ちます。

(撮影:樋上正美氏、解説:今村彰生)